

板橋こども動物園リニューアルオープン



リニューアルしたこども動物園は、草屋根や壁面緑化等による環境負荷の軽減や馬糞等の堆肥化による循環型社会への貢献、動物とのふれあいを通じた健康と福祉の提供や生物多様性を学ぶ教育など、SDGs を体現する施設となっている。今後は、地域住民や地元団体との協働による地域づくりに取り組み、加賀地域のにぎわい創出に向けたまちづくりを進めていく。



赤塚植物園・農業園の整備



誰もが安全に利用できる環境を整えるため、植物園内のバリアフリー化を実施し、植物園隣接地には農業園を整備した。農業園の新たな魅力が植物園に加わることで、にぎわいを生み出すとともに、農業園内で発生する廃棄農作物を堆肥化することにより循環型社会へ寄与するなど、SDGs の観点から赤塚地域の魅力向上を推進していく。



あずさわスポーツフィールドの整備



幅広い年代層が楽しめるあずさわスポーツフィールドは、楕円形の通路「あずさわループ」を設置し、公園内のアクティビティが見渡せる開放的なスポーツ公園となっている。東京 2020 大会に向けた開催のシンボル、また、将来のレガシーとなることで、区民の健康づくり・スポーツに親しむ契機や活気を生み出し、持続可能なまちづくりへと発展させていく。



区有地を活用した電気自動車のカーシェアリング事業



スマートシティの取組の一環として、低未利用の区有地を事業者に貸し出し、電気自動車（EV）のシェアリング事業を実施。庁用車を1台削減し、代替車として区民・事業者とEVをシェア（共用）することで、区有地や庁用車の活用を効率化し、走行時にCO₂を排出しないEV利用を促進するなど、持続可能な社会の実現に向けて、区民等の環境意識啓発と行動変容を図っていく。



板橋区平和公園内で改築オープンした新中央図書館



板橋区平和公園内に移転改築した中央図書館は、公園と一体となった環境を活かし、心地よい読書環境の提供や公園のイベントとの連携など、「緑と文化」の象徴として、あらゆる世代の方が読書や生涯学習活動を行う拠点となり、快適に利用できる図書館をめざす。また、いたばしポローニヤ絵本館を併設し、「絵本のまち板橋」の魅力を発信することで、活気ある空間を展開していく。



包括連携協定企業東京ガスによる取組



インクルーシブデザインを取り入れたスポーツ施設「TOKYO SPORT PLAY GROUND」や、発電効率の高い電池システムの実証試験を行っている「ガスの科学館」など、職員向けの見学会を実施し、SDGs に関する知識向上を図った。また、ガス会社を装った訪問等による詐欺事件を防止するため、注意喚起のチラシを各町会に配布した。地域のニーズに対応した取組の実践に向けて、様々な分野で連携を強化していく。

